

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事	平成24年 8月 29日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 大阪府枚方市岡東町173番地の1	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 京阪電気鉄道株式会社 代表取締役 加藤 好文

工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	平成24年 10月 1日			
工事完了予定年月日	平成25年 5月 30日			
特定建築物の概要	名 称	(仮称) 京阪東ローズタウン松井山手駅前温浴施設		
	所 在 地	京都府京田辺市山手中央5番1、2、3、4、5、6、7、8、9		
	構 造	鉄 骨 造	階 数	地 上 2 階 地 下 階
	敷地面積	8,920.33㎡	高 さ	17.250m
	建築面積	2,237.39㎡	床面積の合計 (増築部分の床面積)	3,138.20㎡ (                      ㎡)
	用途別の床面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む店舗等		
		事 務 所 等		
学 校 等				
飲 食 店 等				
集 会 所 等		3,138.20㎡		
工 場 等				
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果	BEE = 1.0 サステナビリティランキング B+			

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 0.38 立方メートル ②第11条の2第1号イ該当木材等 立方メートル ③第11条の2第2号該当木材等 立方メートル ④第11条の2第3号該当木材等 立方メートル 府内産木材等の使用量の合計量 立方メートル (①+②+③+④)
	使用する用途	下地合板
	府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)	0.38 立方メートル
	府内産木材等の使用基準量	0.371 立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量	80 立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積	1376.48 平方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
	①太陽光	32,626 メガジュール
	②風力	メガジュール
	③水力	メガジュール
	④地熱	メガジュール
	⑤太陽熱	メガジュール
	⑥バイオマス	メガジュール
	⑦その他 ( )	メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	32,626 メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概 要
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、屋根又は床の断熱	外壁はALC板(厚さ100mm)+現場発泡ウレタン吹付(厚さ15mm)を使用。	
<input type="checkbox"/> 窓の断熱又は日射の遮蔽		
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費効率の高い設備の導入	高効率型ガスヒートポンプエアコンの採用	
<input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用		
<input checked="" type="checkbox"/> 節水型設備の設置	節水型シャワーの採用・節水型便器の採用 センサー式器具の採用	
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用		
<input checked="" type="checkbox"/> 耐用年数が長い材料及び設備の利用	配管：主要な用途にCを使用	
<input type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮		
<input checked="" type="checkbox"/> 緑化の実施	外構緑化指数約10%確保	
<input type="checkbox"/> その他		

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

(1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により産出した数値を記入の上、その産出の根拠となる資料を添付してください。